

公表

## 事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	児童発達支援センター つくも幼児教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 1月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所・幼稚園・こども園の訪問支援を行う中で、子どもへの直接支援も大切にしているが、その後の担任の先生や支援の先生、所長先生とのカンファレンスや話し合いを大切にしていること	園の状況に応じて、その日の日課に影響が出ないように配慮しながら先生との話の時間を作っている	訪問開始時に先生方と話せる時間の確認をしたうえで、子どもへ支援を行うようにしていく
2	市町村の健診事業や育児相談事業にも参加しているので、子どもを多面的に見ることができることや、情報の共有ができること	事業所内での担当職員と情報を共有したり見解を話し合ったりする機会を作っている	一人の職員がすべてを担当するのではなく、複数の職員で様々な事業に参加することで、複数の職員で子どもの見立てを合わせて、支援の方向性を定めるようにしていく
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問する園が多いため、日程調整が難しい。難しい場合に訪問の間隔が空いてしまうことがある	児童発達支援部門の運営の都合上、事前に人手が不足が分かっているときや行事の時に訪問支援を入れることができないため、間隔があいたり、訪問回数を増やすことができなかったりしている	今後も訪問先のご都合や事業所の日程を調整しながら、スムーズに訪問支援ができるようにしていく
2	児童発達支援との兼ね合いで、訪問回数がなかなか増やすことができていない	保育所等訪問支援を担当する職員は様々なスキルが要求されるため、訪問を行える職員に限られている	保育所等訪問支援職員の専任化をできるように、人材の確保、育成に努めていく
3			